

インターネット差別書き込みモニタリング事業取組状況

1 目的

インターネット上における差別書き込みの実態を明らかにしていくため、市内被差別部落の特定や誹謗中傷等を内容とする書き込み等をモニタリングする。差別書き込みを発見したときには、削除依頼手続きを行い、差別助長行為の解消に資することを目的としている。

2 内容

インターネット上における差別書き込みの実態を明らかにしていくため、市内被差別部落の特定や誹謗中傷等を内容とする書き込み等のモニタリングを行っている。

令和3年4月から、人権男女共同参画課と4つの人権センターで、指定するウェブサイトをほぼ1週間ずつ交代でモニタリングを行っている。

3 モニタリングの状況

モニタリングするウェブサイトは「爆サイ 山陽版」などとし、確認する内容は同和問題に係る悪質、差別的な書き込みとしている。

○モニタリングした書き込み件数＝延べ21,736件

(令和4年10月25日現在)

○4つの人権センターから削除対象としてあげられている書き込み＝4件